


2020年 安全報告書

京福電気鉄道株式会社




2020年 安全報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)



| <目 次> | 頁 |
|-----------------------|----|
| 1. ごあいさつ | 1 |
| 2. 基本方針 | 2 |
| 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置 | 3 |
| (1) 鉄軌道運転事故 | |
| (2) 災害（地震、暴風雨、落雷など） | |
| (3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休） | |
| (4) インシデント（事故の兆候） | |
| (5) 行政指導等 | |
| 4. 輸送の安全を確保するための取組み | 5 |
| (1) 安全対策のための設備等の改善 | |
| (2) 安全教育 | |
| (3) 異常時対応訓練 | |
| 5. 安全管理体制 | 8 |
| (1) 輸送の安全を確保するための体制 | |
| (2) 役職及び役割 | |
| 6. 地元の皆さまとの連携とお願い | 11 |
| (1) 踏切事故防止キャンペーン | |
| (2) こども110番の駅 | |
| (3) 併用軌道走行時のお願い | |
| (4) らんでんパスポートの配布 | |
| 7. ご連絡先 | 12 |





1. ごあいさつ

～ご利用のお客さまならびに沿線の皆さまへ～

平素は当社嵐山線、鋼索線、架空索道をご利用いただきありがとうございます。

また、当社線沿線でのさまざまな取り組みについて、地域の皆さまに、ご理解、ご協力いただき、重ねて御礼を申し上げます。

当社ではお客さまの安全・安心を経営の最重要方針として掲げ、公共交通に携わる者として、全役職員が安全最優先の原則のもと、輸送の安全を確保するため、法令の遵守に努めてまいります。

この報告書は、鉄道事業法及び軌道法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解をいただくために公表するものです。

今後、より一層安全輸送への取り組みを充実させるため、皆さまからのご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

京福電気鉄道株式会社
代表取締役社長 大塚憲郎





2. 基本方針

『輸送の安全を確保するための基本方針』を以下のように定め、社長以下役職員全員に周知徹底を図っております。

①安全最優先の原則のもと、常に輸送の安全確保に努め、安全適切な処置をとる。

②輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。

③安全管理体制を適正に運用するとともに、継続的な改善を図る。



3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄軌道運転事故

本年中においては下記に記載しておりますものを含め運転事故等が5件（前年6件から1件減少）発生し、死傷者を伴う事故は下表記載の1件でした。

| 発生年月日 | 事故種別 | 場所 | 概要 |
|---------------|--------|---------------------|---|
| 2019年 5月8日 | 道路障害事故 | 三条通 西小路交差 点東方 | 深夜三条通を東進中の回送電車が前方の併用軌道敷(軌道敷内通行不可区間)内で転倒していた自転車運転者と接触(相手方1名死亡) |

お客さまの安全・安心のため、次年度も引き続き事故件数の対前年比減少を目標に、事故防止に努めてまいります。

(2) 災害（地震、暴風雨、落雷など）

嵐山線においては、自然災害による長時間にわたる運転見合わせは発生しませんでした。鋼索線・架空索道においては、夏場の大雨・雷害による運転見合わせが複数回発生しております。特に9月10日夕刻に発生した落雷により機器故障が発生し、翌9月11日まで運転を見合わせる事となりました。

全国的にこれまでにない豪雨や台風による被害が頻発しており、お客さまの安全を最優先とするため、計画的な運休も含めた対応を行ってまいります。

お客さまにはご不便をおかけする場合も予想されますが、何卒ご理解下さいますようお願いいたします。



(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

嵐山線においては、2019年7月25日に等持院駅においてポイント故障が発生。北野線で約40分運転を見合わせました。また2020年3月19日には配電設備の故障により嵐山線全線で始発より約1時間運転を見合わせました。

架空索道においては、2019年8月7日に巻上設備の故障により約1時間運転を見合わせました。

その他、車両や信号機器の部品等の老朽化による故障等が原因の30分に満たない輸送障害は数件発生しております。今後も設備・機器の更新、日常の整備・点検を確実に実施し、輸送障害の未然防止と速やかな復旧に努めてまいります。

(4) インシデント（事故の兆候）

2019年度中の、国土交通省へのインシデント報告はございません。

(5) 行政指導等

2019年6月17日～18日にかけて、鉄道事業法に基づく保安監査が国土交通省近畿運輸局により、鋼索線及び架空索道において実施されました。

監査後に鋼索線の一部検査について改善措置を講ずるよう指示を受け、改善策を講じました。

監査時の助言等も踏まえ、今後も一層の安全確保に努めてまいります。



4. 輸送の安全を確保するための取組み

(1) 安全対策のための設備等の改善（主要な工事）

| 項目 | 設備名 | 内容 | 場所・対象 |
|------|---------------|--|----------------|
| 電気設備 | 電柱のコンクリート柱化 | 老朽化した木製や鉄製の電柱のコンクリート柱化を実施 | 嵐山線 |
| 線路設備 | 軌道道床・まくら木交換 | 老朽化した道床の交換や木まくら木のコンクリートまくら木化を行い軌道の安定度を向上 | 嵐山線 |
| 車両設備 | 台車・制御器・補助電源装置 | 老朽化した台車・制御器・補助電源装置を更新し故障発生頻度を低減 | 502号車 625号車 |
| 駅設備 | バリアフリー設備 | 駅にスロープ設備等を整備しバリアフリー対応を実施 | 北野白梅町駅 |

2019年度からは、新たな中期経営計画と期間を合わせ、「安全あんしん5ヶ年計画」を策定しました。

今後の計画は別表のとおりで、駅のバリアフリー化や踏切設備の改修、車両更新等に今まで以上に注力し、安全性の向上と安定輸送に努めてまいります。



(写真：北野白梅町駅バリアフリー化)



【設備更新・改良計画】

| 計画年度 | 計画概要 |
|--------|--|
| 2019年度 | 駅バリアフリー化…北野白梅町、御室仁和寺、 宇多野、鳴滝 台車・制御器更新…2両 |
| 2020年度 | 駅バリアフリー化…帷子ノ辻、御室仁和寺、 宇多野、鳴滝【北野線完了】 踏切設備改良…3ヶ所 台車・制御器更新…2両 |
| 2021年度 | 駅バリアフリー化…蚕ノ社、有栖川、車折神社、 鹿王院 踏切設備改良…9ヶ所 台車・制御器更新…1両 |
| 2022年度 | 駅バリアフリー化…西大路三条、太秦広隆寺 【山ノ内を除く全駅完了】 踏切設備改良…5ヶ所 車両改良…2両 |
| 2023年度 | 踏切設備改良…13ヶ所 車両更新…2両 |

(2)安全教育

当社ではお客さまの安全を確保するため、様々な教育を実施しています。

運転士・駅務員については2019年度においても、年間4回の安全教育を行い、併用軌道での運転操作や、車両故障発生時の対応方法等について教育しました。

また保守作業を担当する係員についても、定期的な教育の場を設けることで、異常時の対応能力の向上に努めています。





(3)異常時対応訓練

嵐山線では、年末年始の輸送等に関する安全総点検期間中に運転指令所において、通常自動制御されている信号機器で、停電等を想定した手動扱いを行い、異常時においても関係係員が安全・確実な取扱いを行えるよう訓練を実施致しました。

また2019年5月には、西院車庫において脱線事故を想定した総合復旧訓練を実施し、関係部署間での連携も想定した形の訓練を実施しました。

さらに2019年度は、中京消防署との合同脱線復旧訓練、救助訓練を実施しました。



(写真：嵐山線総合復旧訓練)



(写真：架空索道救助訓練)

鋼索線・架空索道においては、それぞれ年1回、駅間停車時の救助訓練を実施し、非常の際に備えました。

また、左京消防署とロープウェイでの合同救助訓練を実施し、非常時の関係機関との連携強化に努めました。

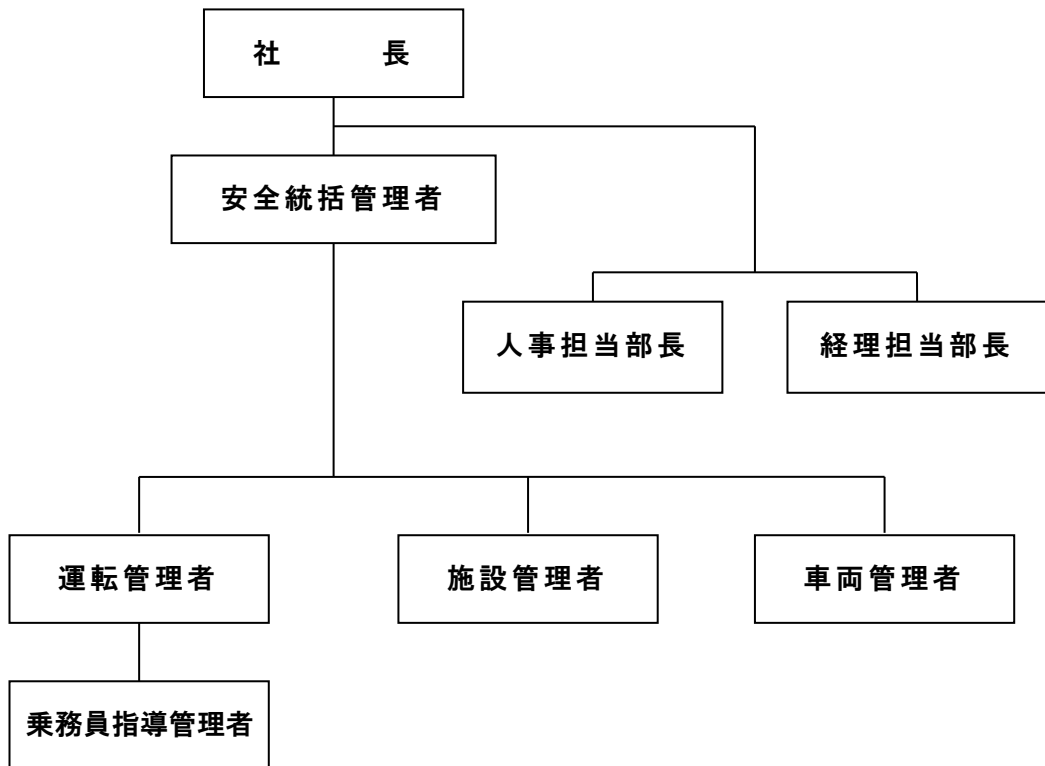


5. 安全管理体制

当社では、社長をトップに輸送の安全を確保するために、『安全管理規程』を定め、管理体制を下図のように明確にし、各責任者の役割も明確にしています。

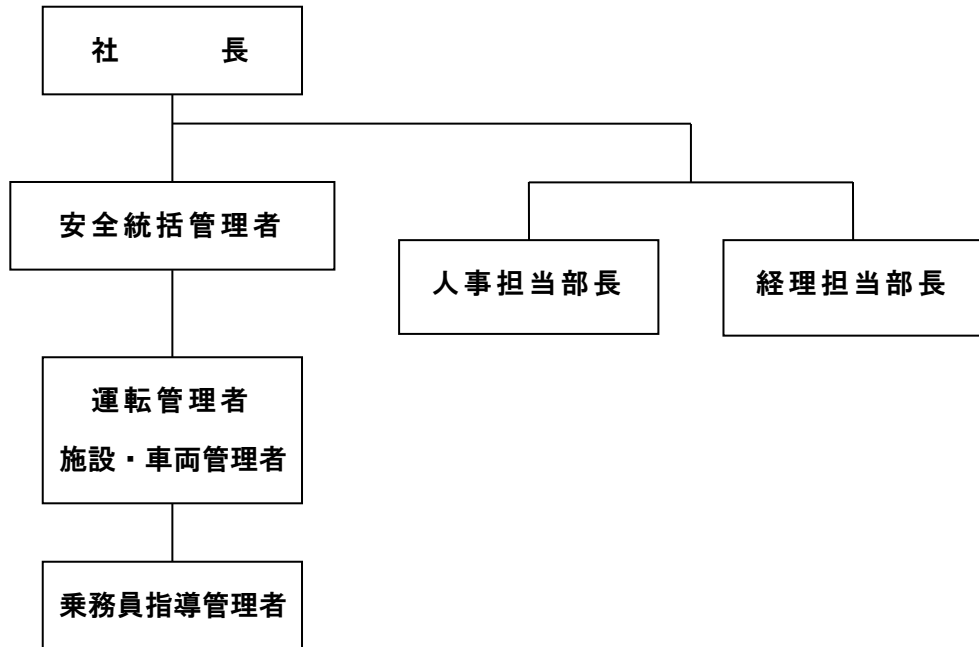
(1) 輸送の安全を確保するための体制

【嵐山線】

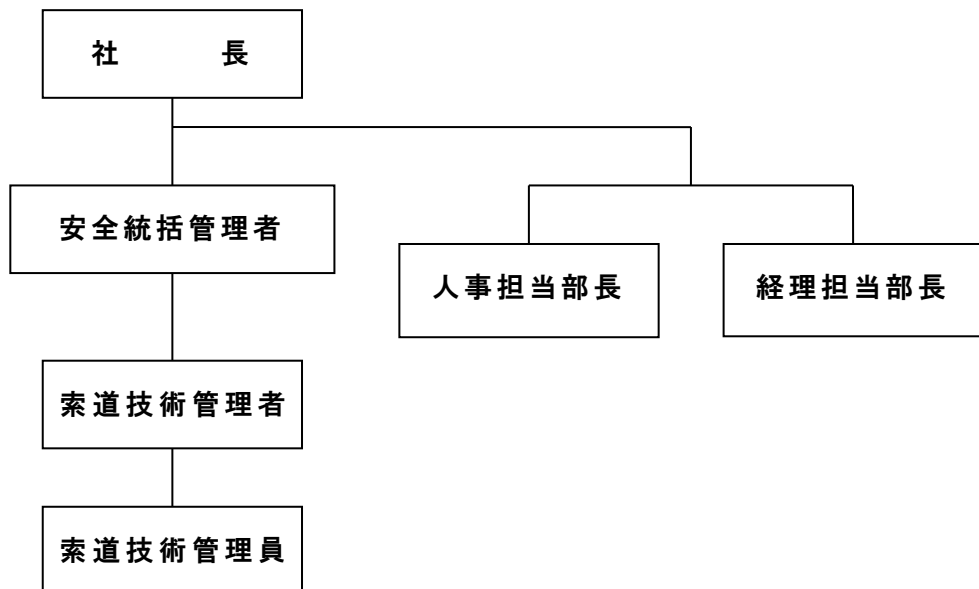




【鋼索線】



【架空索道】



(2) 役職及び役割

| 役職 | 役割 |
|----------|---|
| 社長 | 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。 |
| 安全統括管理者 | 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。 |
| 運転管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。 |
| 乗務員指導管理者 | 運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。 |
| 施設管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。 |
| 車両管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。 |
| 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理員 | 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。 |
| 経理担当部長 | 輸送の安全の確保に必要な設備投資計画、財務に関して全社的な調整を行う。 |
| 人事担当部長 | 輸送の安全の確保に必要な人事に関して全社的な調整を行う。 |

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

(1) 踏切事故防止キャンペーン

毎年11月1日～10日の10日間、ドライバー及び歩行者の方々を対象に踏切事故防止キャンペーンを実施しています。



踏切事故の防止のため、踏切での自動車等の一旦停止にご協力をお願いします。

踏切の遮断時間が長くなる場合もございますが、安全のためくれぐれも無理な横断をなさらないで下さい。



万一、踏切に異常を発見された場合は、踏切付近に設置の看板の宛先までご一報下さいますよう、お願いします。

また、2019年11月12日には、嵐山線沿線の朱雀第7小学校の3年生を西院車庫内に招き、安全な踏切の渡り方などを知っていただくため、『嵐電教室』を開催しました。

(2) こども110番の駅

登下校時のお子さまを犯罪から守るための運動に参加し、当社も駅事務所等に関西鉄道協会の統一ステッカーを掲出しています。

こどもたちが駅に助けを求めた場合には、当該こどもの保護や110番通報等の対応を行います。





(3) 併用軌道走行時のお願い

平素は併用軌道における電車運行にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

併用軌道敷内は原則通行不可となっています。通行不可の区間は危険ですので軌道敷内を走行されないようお願いします。また、一部区間については通行可能となっていますが、併用軌道を走行される際は、前後の電車の接近に注意いただき、電車の接近時には軌道敷外を走行いただきますよう、ご協力をお願いします。

(4) らんでんパスポートの配布

嵐山線沿線でパンフレット『らんでんパスポート』を配布しています。その中で併用軌道走行時のお願いや、駅の改良工事竣工箇所等についてお知らせしています。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全に関する取組みに対するご意見、ご感想は以下へお願いします。

京福電気鉄道株式会社

管理部（総務人事担当）

TEL 075-841-9381

FAX 075-841-4043

(9:00~17:00 土・日・祝日、

年末年始を除く)

